



議会だより

# なよろ

平成 29 年  
9 月定例会

第 46 号

平成 29 年 11 月 1 日  
発行



## 目 次

定例会で決まったこと .....	2
議決結果・意見書 .....	3
決算審査特別委員会の概要・総括質疑 .....	4 ~ 5
一般質問に 11 人 .....	6 ~ 11
議員協議会 .....	11
総務文教常任委員会行政視察報告 .....	12
特別委員会を設置しました .....	14
各委員会活動報告 .....	15 ~ 17
きぼう・編集後記 .....	18

題字 名寄南小学校 佐野 鈴夏(さの りんか)さん

平成29年 第3回定例会 9月4日～9月28日

公共施設の使用料及び利用  
料金等の見直しについて特  
別委員会を設置して審査

平成29年第3回定例会は、9月4日から28日までの25日間開かれました。議案審議では、条例の制定・改正等8件、補正予算4件、その他4件、平成28年度決算の認定9件、意見書案6件、報告5件を審議しました。最終日に提案された「名寄市開業医誘致条例の制定について」は市民福祉常任委員会に付託、「公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」は、特別委員会を設置して付託しました。また、9月19日、20日、21日の一般質問では11人の議員が市政の課題について質問しました。

条例の制定及び一部改正等

名寄市特別職報酬等審議会

条例の一部改正

名寄市病院事業については地方公営企業法の全部適用に向けて準備を進めています。全部適用を行った場合、新たに設置が可能となる管理者については、地方公務員法により特別職とされることから、管理者の報酬に関する審議を審議会の所掌事項に加えるものです。

名寄市農業委員会に関する

条例の全部改正

平成27年9月に農業委員会

等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が公選制及び農業団体と市議会の推薦で選任していたものから候補者の推薦、募集の手続きにより市長が市議会の同意を得て任命する方法に変更になったことから、農業委員会の定数を定めるため本条例を全部改正するものです。定数は現行と同じ27人と定めています。

主な補正予算

障害者福祉一般行政経費

障がい者スポーツ活動の推進を図ることを目的に誰もが参加でき、パラリンピック正式種目のスポーツである「ボッチャ」の用具購入のため33万7千円を追加しました。



市民ボッチャ交流大会の様子

住宅改修等推進事業費

中小企業の振興並びに地域経済の活性化を図るとともに良質な住環境の整備などを促進するため実施している補助金について、現在の状況と今年度の需要を踏まえ2000万円を追加しました。

市道除雪・排雪対策事業費  
効果的で即効性のある除排雪事業の展開を目指し、北海道からの除排雪機械の払い下げに係る購入費と雪堆積場確保に向けた用地の取得費について435万1千円を追加しました。

災害対策事業費

最大想定規模の降雨による浸水想定により、非常用電源の確保に向けた各工事を実施し、災害時における市役所名寄庁舎の本部態勢を維持するための費用として147万円を追加しました。

学童保育所運営事業費

児童の安全安心な保育環境を確保するため学童保育所コロボックル窓枠等の改修工事を実施するため210万円を追加しました。

成年後見制度事業費  
名寄市社会福祉協議会に成年後見センター事業の運営を業務委託し、法人で後見人の受託をすることができる体制を構築するための費用として316万4千円を追加しました。



## 平成28年度 決算審査特別委員会

# 平成28年度決算を認定

第3回定例会において、全議員をもって構成する平成28年度決算審査特別委員会を設置しました。第1回委員会を9月4日に開催し、委員長に高野美枝子委員、副委員長に塩田昌彦委員を選出しました。

第2回目以降は、9月25日から28日の4日間の実質審議に入り、会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が行われ、行財政改革、防災、生活・環境問題、福祉行政、健康増進、農林商工業及び観光の振興、教育、病院事業などの身近な課題をはじめ、将来に向けての課題整理や各種事業の継続性や改善を求めるなど、適正な予算執行にかかわって慎重な審査を行いました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国民健康保険特別会計について賛成多数により、その他の介護保険、下水道、個別排水、食肉センター、後期高齢者医療の5特別会計と病院事業会計、水道事業会計は全会一致で認定しました。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め結審しました。



高野委員長（左）と塩田副委員長（右）

## 質疑の一部を掲載します

### 店舗支援事業補助金

**Q** 平成28年度は昨年度に比べて利用件数が増加しているが、利用促進の分析は。相談窓口等産官金サポートネットワークとの連携は。

**A** 平成28年度より補助対象経費を50万円以上としたことで、これまで対象とならなかった改修工事も対象となったため利用件数が増加。支援メニュー等の改正内容なども産官金サポートネットワークで情報共有している。商店街に限らず、市内全域が対象となる補助制度であり周知を進めたい。

### 小学校図書館司書配置事業

**Q** 学校図書館司書の配置状況と事業の実績について。

**A** 平成28年度より市内小学校全校に配置。週1～2日1日5時間勤務。学校図書室の利用、本の貸出数も増えている。蔵書管理、図書室環境整備のみならず、調べ学習でのアドバイスや読書相談にも対応している。全国学力学習状況調査では読書が好きと答える児童は全国平均より多く、学力向上につながっている。

### 市営住宅環境整備事業費

**Q** 西町団地解体工事にかかわって、解体工事の計画と跡地の利用について。入居していない住宅の周辺が荒れているが対応は。

**A** 昭和48年から49年に建設された旧西町団地は平成30年で全戸解体予定だが、入居者の住み替え等対応していく。政策空家として今後入居の予定のない住宅などの周辺環境整備については、草刈り等適宜対応している。跡地については、狭隘であり公営住宅等の建設には向かない。今後の活用は未定。

決算審査特別委員会総括質疑



将来への積極的投資を

市政クラブ 東 千春 委員

財政の現状と課題は

**問** 財政健全化はどの程度まで進んだと考えているか。

**答** 財政健全化比率は改善され、健全性を保っているが、将来への担保が必要で、今後も財政規律を順守し、市民に信頼される財政運営を図る

**問** 地方交付税の今後はどのように推移すると想定するか。

**答** 29年度は合併算定替えで9,100万円減、大学ではトップランナー方式で5年縮減の方向、国勢調査での人口減などから今までより減額を見込んでいる。

**問** 市債残高の自腹分はどの程度か。

**答** 一般会計は残高277億円で自腹分は37.4%、特別・企業会計を含む全会計448億円に対し48.6%。今後有利な起債を活用したい。

**問** 今後の基金の積み方の考えについて。

**答** 基金は備荒資金と合わせる約120億円となった。基金の用途を明確に、具体的に分かりやすくしたい。

**問** 一定の財政健全化が進んだ現状から、人口が減少する社会構造での人材育成を含めた将来への積極的投資の必要性をどのように考えるか。

**答** 地域の特性を活かした、まち・人・しごと地方創生総合戦略や総合計画から、街づくりの原動力は人づくりの考え方に基つき人材の育成を考慮したい。今年度の未来への投資としては、子ども子育て支援、農業担い手支援を予算化した。また、今後、35年以上経過した耐震化していない公共施設を全部建て替えをすると150億円かかる現状もあり、効率化と補助金や特定財源の調査など市民を含めて知恵を絞る必要がある。街づくりは人づくり、人口を減少させない、人を育てることを視野に事業を厳選したい。

決算審査特別委員会での

ふるさと応援寄附記念品発送業務委託料

**Q** ふるさと応援寄附金について、寄附金の使い道の周知方法は。

**A** 寄附者は名寄市ふるさと応援寄附条例で定める用途事業を選ぶことができる。それぞれの事業の寄附金額と総額については、ホームページでお知らせしている。平成29年度からは寄附者に交付する寄附採納証明書に寄附金の活用事例等を掲載する。また、ふるさと納税専用サイトにも具体的な寄附金を活用した事業名等を掲載し、寄附者にわかりやすい情報を発信したい。

介護人材確保緊急対策事業補助金

**Q** 事業の活用状況、成果と今後について。

**A** 介護職員初任者研修受講費用助成として、市内の介護保険事業所で介護職員として1年以上勤務することを確約する方に対し、介護職員初任者研修受講にかかる費用を助成する事業。平成28年度の対象者は7人（一般5人、学生2人）。助成を受けた皆さんが市内の介護保険事業所に勤務している。平成29年度は就職支度金（すでに介護福祉士の資格をお持ちの方や介護職員初任者研修の受講を修了している方で、平成29年度1月以降に市内介護保険事業所へ就職される方に対し助成）として6人に助成している。今後も介護人材の確保、定着、掘り起しに向けた対策を強化したい。

一般質問



安全安心な暮らしを守る

市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

熊出没！ 緊急時への対応は

問 風連地区市街地での熊出没に伴う安全対策は。また、災害時に有効な情報伝達手段は。

答 市民からの通報を受け、名寄警察署・市担当職員・猟友会・消防が連携して地域住民への注意喚起や情報提供を行い、徹底した被害の未然防止対策に努めた。今後の安全安心を担保する活動としては、猟友会の後継者育成も重要であり、「ヒグマ対策技術者育成事業」に取り組んできている。今後も情報交換を行っていく。防災行政無線は、災害時においても有効な情報伝達手段である。しかし、予算の問題もあり、道内自治体の導入状況を踏まえ検討していく。

特別支援教育の充実を

問 インクルーシブ教育システム構築に向けた名寄市の現状と課題はいかに。

答 8月、文部科学省の「イ



深刻化する有害鳥獣問題

ンクルーシブ教育システム推進事業」の指定を受け、今年度から3カ年事業で体制を強化する。名寄版の個別支援計画「すくらむ」の幼児・小学生全員への配布、広域での講演会・セミナーの開催、看護師の配置等を進め、就学前から切れ目のない支援を行う。このことにより、障がいのあるなしで学ぶ場を分けずに学ぶシステム、環境の構築を目指す。現時点では理念の共有が課題である。

他の質問・若年世代のまちづくりへの意識を高める方策は



種子法廃止での影響を質す

市民連合・凜風会 佐久間 誠 議員

外資参入で種子寡占化を危惧

問 種子法が来年4月に廃止されるが、優良種子の供給が不安定になり、地域農業の衰退につながるのではないかと栽培条件が厳しい品種の開発、研究が立ち遅れる可能性や道の品種開発の体制縮小が懸念される。高品質な農作物の生産が継続できるような優良で品質の高い種子の安定供給にむけ関係機関、団体と連携し、国に求めていく。

問 政府は「種子法が民間の品種開発の意欲を阻害している」というが、「民間」という中には、国内民間企業のみならず遺伝子組み換え作物の種を販売している「多国籍企業」も含まれていくのではないかと。

答 現段階では、国内企業に限定されるとの方針は示されていない。主要農作物種子法廃止に伴い詳細が示されると思うので国の情報等に留意し



市民要望に応える除排雪体制を！

問 福祉と連携した除排雪体制をたい。

問 除雪の心配のない高齢者の住まいを準備する必要はある。生活援助員を配置するシルバーハウジング方式の公営住宅を増やしてはどうか。

答 現在整備の公営住宅はユニバーサルデザイン設計。今年度第二次マスタープラン策定委員会で全体議論したい。また、除排雪の改善施策については、可能な部分については実施するよう指示している。

他の質問・酪農家の経営安定

インクルーシブ教育システム：障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組み。

一般質問



未来に希望のある街づくりを

市政クラブ 東川 孝 義議員

冬季スポーツを地域の文化に

問 冬季スポーツ拠点化事業推進に必要な環境、市民への広がりと今後の目指す展望は。2年間実施されたWSC事業の評価とジュニア発掘に向けての指導者確保は。

答 本市には、世界に誇れる雪資源、活躍が期待されるジュニアアスリート、集約化された冬季スポーツ施設、医科学サポートのできる病院や大学など、人的、物的資源がコンパクトに集約されており、これらを十分に活用した中で冬季スポーツを地域の文化として育てていきたい。WSC事業は、継続に向けて関係機関と協議を進めたい。ジュニア育成の鍵となる指導者育成を戦略的に実施しており、今年度は8回シリーズによる指導者養成プログラムに着手する。

状と融雪後の状況確認と工事発注の現状は。

答 平成28年度末の市街地舗装率は名寄地区68%、風連地区は87%、名寄市街地全域では、70.7%で、平成18年当初より5.2%増、延長8.1の進捗となっている。舗装補修工事は、毎年4月下旬に発注しており、補修期間は6月初旬頃から実施。第2次総合計画の10力年で5%の舗装率向上を目標としている。

他の質問・観光振興計画の推進に向けて、事業評価とストーリー性の創造について

問 舗装率のさらなる向上を

市道の舗装・未舗装の現



将来の五輪選手を目指し、2回目のWSC開催



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二議員

人口減少社会の未来年表を

問 名寄市では人口減少が急速に進んでいる。減少が収束しない等の条件下で推移すると2020年頃には女性の過半数が50歳以上となり出産可能な女性が大きく減少、2022年頃には全町内会の半数が限界集落に。この先「何が起きるか」など、人口減少で惹き起こされる深刻な症状への処方箋や、地方都市の名寄市で対処する手立てのための未来年表の作成を。

答 市は創生人口ビジョンで、人口減少を厳しく想定したが当初よりも早いペースで減少が進んでおり、樂觀できない状況だ。未来年表の実態版の作成となると、固有名詞や固有地区の公表など影響も大きい。総合計画等の見直し検証では、想定される現象を考慮して進めていきたい。

が頻繁に住宅地に出没している。排せつ物を媒介とするエキノコックス症の感染対策や排除対策を。

答 9月末現在で相談件数10件、5頭のキツネを捕獲し、山奥に放しており、今後も箱ワナを設置して捕獲に努める。エキノコックス症は手洗いや山菜類などの加熱で予防を。健診を受診するよう周知を図る。

他の質問・新年度予算について・千年に一度の洪水対策の総括・ガン検診と受診率他

問 住宅地のキタキツネ対策は

餌を求めるキタキツネ



住宅地に侵入するキタキツネ

WSC事業：ウインタースポーツコンソーシアム事業。冬季スポーツのジュニア選手発掘、強化を目的とした事業。

一般質問



犯罪に強いまちづくり

名風会 野田 三樹也 議員

児童センターについて

**問** 児童センター施設は昭和47年に建築され築45年が経過しているが、老朽化や耐震性を含め今後の方向性についてどのように考えているのか。

**答** 施設の老朽化が進んでいる状況や、耐震性の問題などから建て替えが必要な時期にきており、第2次総合計画や公共施設等総合管理計画で、改築の時期や改築内容等について協議をしていく。協議については、子どもたちが気軽に安心して安全に遊び、交流できる場として利用され、また利用者の利便性を高めるために他の公共施設との複合化も視野に入れるなど、様々な視点から検討をしていきたいと考えている。

**問** 犯罪に強いまちづくりについて 近年、高齢者に対する振り込め詐欺やオレオレ詐欺等が全国的に多発しているが本



老朽化が進む児童センター

市における発生状況と今後の対策は。

**答** 最近では手口も巧妙化し、平成28年度における発生状況は、残念ながら1件発生している。対策としては、犯罪を未然に防ぐため、各関係機関・団体等と情報共有を図り、詐欺事件の注意喚起・周知徹底を図り、犯罪防止に取り組む。



ピロリ菌検査の導入について

公明 高橋 伸 典 議員

義務教育中のピロリ菌検査を

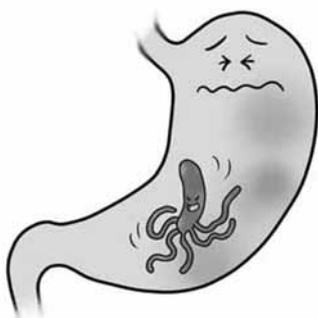
**問** 慢性的に胃の粘膜の炎症が続くと胃の粘膜が薄く委縮し「胃炎」などの様々な病気になりやすい。早期発見・早期治療のためにも義務教育中のピロリ菌検査導入を。

**答** 世界保健機構は、ピロリ除菌について「胃がんの80%はピロリ菌感染が原因で、除菌により胃がんを30〜40%減らせる」との報告書をまとめ、日本へリコバクター学会は「中学生以降では、早期の除菌が望ましい」と提言されている。そのため、感染している場合は、なるべく若い時期に除菌治療することで、胃がんなどの病気を予防できるとの考えから、道内では、10市27町村が中学生を対象にピロリ菌検査を実施している。現時点では、死亡率減少効果の検証が十分ではないため国の見解を引き続き調査研究していく。

公立高校間口削減対策

**問** 公立高校配置計画と間口削減に対するの対策は。

**答** 市内高校の生徒確保は依然として厳しい状況が続く、中学校への募集案内支援をはじめ、本年度から取り組んでいる高等学校生徒資格取得に対する支援制度を有効活用して市内企業などと連携した採用枠拡大や人材育成支援に取り組む。平成32年からの名寄産業高校の間口削減対策は、関係検討委員会で学科編成も含め協議する。



義務教育でピロリ菌検査の導入を

一般質問



省エネ・クールチョイス

市政クラブ 塩田昌彦議員

二酸化炭素排出削減の促進

**問** 地球温暖化防止対策の現状と取り組みについて。

**答** 名寄市地球温暖化防止実行計画を策定し取り組んできた。啓発事業では小学生の環境問題や省エネに対する意識の醸成を図る取り組みとして、「こどもエコ隊」を結成。また、地域では環境省の事業採択を受け、エフエムなよるがラジオを通してクールチョイスを展開している。

**問** 「こどもエコ隊」の今後の活動と宅配の不在再配達への対応について。

**答** 「こどもエコ隊」の活動拡大については発足間もない組織であり、少し時間をかけて対応したい。宅配の不在再配達がCO<sub>2</sub>排出問題に関わることは認識しているが、現状等の把握が必要と考える。

地方創生と経済対策

**問** 新築住宅建設の現状と地元施工業者受注減少の認識

について。

**答** 市内の新築住宅建設の現状は、年間60件前後。その内地元受注は4〜5割で推移していたが28年度は3割と減少している。

**問** 地元受注の減少は、地域経済に影響する。補助金の創設、地元受注への誘導など行政の対応は。

**答** まずは、住宅改修事業の推進を図る。地元受注の誘導については建築指導の立場では、原則対応できない。  
**他の質問**・第二次名寄市行財政改革推進基本計画について



電気の仕組みや大切さについて楽しみながら学ぶ「こどもエコ隊」



映画製作は民間で

市民連合・凜風会 奥村英俊議員

税金の使い方を誤るな

**問** 映画制作で知名度向上や地域活性化を図るのに名寄市が制作委員会に参加し、数千円の出資金を出すと聞いたが、税金を使わず民間で進すべきと考えるがいかがか。

**答** 映画「星守る犬」の検証から名寄市観光振興計画戦略事業に「フィルムコミッション事業」を位置付けていることから前向きに検討したいと考えているが、フィルムコミッション事業のみならず、観光振興の効果を最大限に生み出していくためにはボランティアを含めて市民の皆さんの主体的な取り組み、参加が必要不可欠だと考えている。

**問** 名寄市の施策・事業の決定にあたっての優先順位と税金の使い方について、映画製作より優先すべき市民要望や事業がたくさんある。地元への経済効果もあると聞くし、出演も含めた映画に興味のあ

る市民の方もたくさんいることから民間サイドで実施すべきと考える。

JR宗谷本線の存続を

**問** 宗谷本線の利便性への配慮と利用促進について伺う。

**答** 利便性への配慮において特急列車の乗り換え、午後5時5分以降駅員が不在など利便性が低下しているが環境改善も含め検討する。利用促進策について、年内を目標に具体的な提案を出していきたい。  
**他の質問**・公契約条例制定について



映画製作は市民・民間の力で進めよう

一般質問



介護・子ども支援の充実を

日本共産党 川村 幸 衆議員

**問** 介護労働者の処遇改善を

介護職員確保の取り組みがされているが、全産業平均より月に10万円も低い介護労働者の処遇改善、介護報酬の引き上げが喫緊の課題と思うが。

**答** 本年6月に市内介護保険事業者で組織する名寄市介護サービス事業者連絡協議会を立ち上げ、介護人材の確保や職員の定着に向けた処遇改善等について話し合う場を予定。全国市長会には、処遇改善の推進、適切な介護報酬の評価、設定など重点提言を行っている。さらなる処遇改善を求め上部団体への要望を続ける。

**問** ラブ、地域の集まりに「出前トーク」を利用してもらい、介護保険制度等について説明している。また、利用者への文書は高齢者が読みやすいよう文字を大きくするなど改善している。

**答** 小学生の外来受診も無料に  
**問** 学会の調査や研究者らの調査で、経済的理由で受診を控えたことがある、医療費助成の拡大で入院数が減るとの結果が出ている。市の考えは。

**答** 子ども医療費助成の独自拡大は、就学前児童の入院と外来、小学生の入院に限り、他の子育て支援総体で拡大。

くらし・教育・平和とともに

市民連合・凜風会 熊谷 吉 正議員

**問** 平和あつての市民生活

危険なオスプレイが道北を飛来する時の対応と反核平和活動の積極的推進策を問う。

**答** 道民市民の安心安全を守るため関係自治体と連携し、不安の軽減に努める。非核三原則、核廃絶、戦争のない世界を市民と共に目指し、ホームページを活用した平和推進事業も取り組んでいく。

**問** 豊かな教育の推進を

**答** 学校現場の長時間勤務は社会問題である。子どもたちが健やかに成長するための重要な要素であり改善を求めらる。

**問** 道教委調査でも賃金が出ない恒常的時間外勤務の実態が確認され名寄も同様である。その要因は、授業時間の増加、児童生徒への対応、成績処理、部活動等に加え来年から道の徳の教科化等への対応などもある。国や道教委と

**問** 住宅改修事業の継続を

も連携しながら、勤務時間の削減に向けた様々な対策を進めていく。

**問** 一時的な改修事業ではなく住宅の経年状況と新築を含む市場性を見極め、民間ニーズ、住環境改善、通年の雇用確保、老朽家屋解体等総合的、継続性のある住宅政策を求める。

**答** 築21～35年で3300戸、その後を含むと6000戸を超え潜在的需要はある。今後の継続性については、市民や業界等のニーズ、雇用確保・育成等総合的に検討し、来年度早い段階で方向性を示したい。

**答** 広報や市のホームページに掲載。各町内会や老人クラブに掲載。



子どもの医療費無料化の年齢拡大で子育て支援を



健やかに育つ教育環境を (写真は名寄中学校)

一般質問



加藤市政2期目の成果は

市政クラブ 山田 典 幸 議員

市長公約の達成状況について

**問** 加藤市政2期目も任期満了まで約7カ月となったが、

公約として掲げた6つの施策の達成状況と評価について、また今後の市政運営の展望について市長自身の考えを伺う。

**答** 総合計画を基本としつつ6つの施策の推進を進めてきたが、特に市立総合病院の救命救急センターの認定や機能充実、街中での子育て支援センターのオープン、農産物集出荷施設整備の支援、市立大学の社会保育学科の設置と新図書館の建設、エンレイホールのオープンによる文化活動の振興などが取り組みの成果と考えている。今後においても人口減少・高齢化などの課題を市民皆で共有し、第2次総合計画、総合戦略の着実な推進が重要と考えている。

**アライグマ対策について**

**問** 近年本市においてアライグマによる農作物被害が急

増している。アライグマは繁殖力が強く年々個体数が増加していくことが懸念されるが、今後の対策について伺う。

**答** 捕獲体制を強化するとともに、電気柵などにより作物を守る自衛の強化も必要と考えている。箱わなでの捕獲については、アライグマの習性などを踏まえた適切な設置により捕獲の精度を上げる必要があるとあり、今後は生産者等に対し、より実態に適した情報提供に取り組んでいく。



市民との協働で明るく元気なまちづくりを

議員協議会（9月4日）

本会議終了後に開催された議員協議会では、2件の案件についての説明を受けました。

名寄市総合計画（第2次）

では、考え方として「限られた資源の有効活用」「政策目標の明確化・見える化」「策定重視から検証重視へ」の3点を挙げ、総合計画の策定と進捗管理を一体的に行う新たな組織（審議会）を設置することとし、既存の策定審議会条例・推進市民委員会条例を発展的統合を図り、新たな条例の設置を行うとしています。

また、前期計画の重点プロジェクトや総合戦略で導入したKPI（成果指標）について、すべての分野に拡大すること、基本計画では、政策目標を端的に示し、コンパクトでわかりやすい計画に。成果目標に基づく進捗管理により、事業の改善や取捨選択を推進し、予算編成に反映することとし、随時情報公開を行い市民の意見を反映するための参加手法を検討するとしています。

名寄市社会福祉事業団の経

営状況報告では、特別養護老人ホーム清峰園及びしらかばハイツにおいて、両施設共に介護職員の不足から入所定員を満たしていない状況が続いており、依然として空きが生じていますが、人材確保の取り組みを行い平成29年度新規採用職員及び介護スタッフの配置など検討した結果、平成29年7月3日に清峰園あじさいユニットを再開し、7月末現在で97名の措置に至った旨の報告を受けました。



名寄市総合計画（第2次）中期計画に向けて説明を受ける

総務文教常任委員会視察報告

和歌山県岩出市・京都府宮津市・兵庫県豊岡市・鳥取県鳥取市・岡山県瀬戸内市・兵庫県赤穂市・兵庫県明石市

7月11日から14日までの4日間で、7か所の視察を行いました。

初日の岩出市立岩出図書館は市民の身近にあって、いつでも、どこでも、だれでも図書館サービスを受けられるように分館・分室をネットワーク化しています。基本理念に「恵まれた自然環境」など5項目設定。ボランティアが活発に行われていました。



窓の外には豊かな自然が広がる岩出市立岩出図書館



地域に愛される鉄道として利便性の向上、地域力の向上に成果を上げている京都丹後鉄道

2か所目は宮津市にある京都丹後鉄道を訪問。上下分離方式を含む鉄道運営について伺いました。乗客確保の取り組みでは、ロゴマークの製作や制服のリニューアル、駅名変更、インバウンドの利用拡大、観光列車の利便性の向上、貨客混載などが行われています。自治体との連携では、公共交通のシームレスなネットワーク化、沿線教育機関との連携などの取り組みが行われています。

3か所目は豊岡市を訪問。防災行政無線の整備として戸別受信機を全戸に無償貸与し、様々な災害への備えを行っていました。

4か所目は鳥取市のさじアストロパークを視察しました。学校教育・生涯学習では中学校への出張授業、高校生の宿泊研修、高校天文セミナー、鳥取大学での非常勤講師などを行っています。

5か所目は瀬戸内市民図書館を訪問。新図書館整備検討プロジェクトチームで情報公開、建設までのプロセスに市民参加、経験のある人材の登用を基に計画され、様々な先進的な取り組みが行われています。



「せとうち発見の道」として土器などの郷土資料を展示している瀬戸内市民図書館

6か所目は赤穂市立図書館を訪問。グッドデザイン賞を受賞した美しい図書館です。赤穂市の文化情報の発信などの理念を設定し、建設されました。

7か所目は明石市のあかし市民図書館を訪問。駅前ビル内にあり、他の公共施設等との複合施設。指定管理で運営されており、民間のノウハウを取り入れて運営されています。

図書館建設では市民との関わりや理念を持って計画することが大切だと感じました。鉄道事業では地域と向き合い、民間的発想で集客事業を目指す姿はこの地域にも応用することができると感じました。



駅前再開発ビルの中には「あかし市民図書館」のほか子育て支援センターなどの公共施設が配置されている

今回の議会報告会は市内12カ所の町内会館などで開催しました。議会報特別委員会の新しい取り組みとして、『議会だより かわら版』を発行し、市内公共施設等に貼付し、議会報告会の周知をしました。議員4～5人の4班体制とし、議会活動報告のあとは、ざっくばらんに参加者の皆さんとの意見交換をさせていただきました。10月16日の東12区町内会館を皮切りに12カ所計107人の参加をいただきました。参加者の皆さんには身近な町内会館での開催は参加しやすく、少人数の中であれば自分の意見も話しやすいとの感想をいただきました。今後も多くの皆さんに参加していただけるような議会報告会を開催したいと思います。



活発な意見交換が行われた（東12区町内会館）

**議会報告会を開催しました**  
(10月16日～19日)

## 名寄市議会ホームページのご案内

名寄市議会のホームページでは、名寄市議会の紹介、議会ライブ中継など市議会の情報を発信しています。これからも、市民のみさなんに議会活動をわかりやすくお伝えしていきます。

市議会や委員会の傍聴について、ご案内しています

定例会や臨時会の会議の様子を会議録にして掲載しています

定例会、臨時会、予算・決算審査特別委員会を中継で見ることができます

議会だより、議会だよりかわら版を掲載しています。過去の議会だよりも見ることができます

議会報告会の開催案内や過去に開催した議会報告会の実施報告及び市民要望に対する市長回答などを掲載しています



<http://www.city.nayoro.lg.jp/assembly/>  
(名寄市議会ホームページのトップ画面)

## 公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係 条例の整備に関わる審査特別委員会(9月28日、10月6日)

平成29年第3回定例会最終日に「公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」の議案が提案され、同日8名の委員による特別委員会を設置し、付託されました。第1回の特別委員会では、互選により奥村英俊委員長、東川孝義副委員長が選出され、平成29年第4回定例会初日の結審に向けて審議を行うことを確認しました。第2回の特別委員会では、条例改正の基本的な考え方の説明を受けました。今回の見直しの対象となるのは42施設28本の条例改正であり、「受益と負担の明確化」と「公平性・公正性」を確保するべく、使用料等に関する統一的な設定基準を策定し見直しをする考えであり、議会としては更なる市民サービスの向上を基本として議論を進めていくこととしました。

委員長	奥村 英俊	副委員長	東川 孝義
委員	東 千春	熊谷 吉正	塩田 昌彦
	佐久間 誠	高野 美枝子	川口 京二



鏡絵を破らないように慎重に作業を進める

8月13日名寄市議会議員有志が、第39回風連ふるさとまつりに参加しました。議員有志で引いているあんどんは今回新しくなりました。市内の宮崎敬市さんに春から時間をかけて鏡絵と送り絵を丁寧に書き上げていただきました。議員有志も作業を教えていただきながら本体に鏡絵と送り絵を張り付けました。絵の上にもうそくを溶かして塗り、アイロンをかける雨対策も教えていただき、熟練の技に感動しながら作業を終えることができました。



迫力のあるあんどんに負けないように祭りを盛り上げました

ふるさとまつりのメインイベントである風舞あんどん・エアでは14基のあんどんが太鼓や笛の音声を響かせながら賑やかに風連庁舎をスタートしました。夜空にくつきりと色鮮やかなあんどんが映え、迫力ある美しさでした。あんどんをひきながらたくさんの皆様が声をかけていただき楽しい時間を過ごすことが出来ました。この熱気、この一体感を大切に、今後ともまちづくりにしっかりと取り組んでいきます。

議会  
スナップ

(8月13日)

## 総務文教常任委員会活動報告

当委員会では6月27日に委員会を開催し、市内の所管する公共施設6か所を視察訪問しました。

北国博物館では資料庫は整理されており市民への各種展示に工夫されていました。名寄市児童センターは建物の老朽化が著しく将来において他の施設との合築等も視野に検討が必要と思われる。なよろ市立天文台さすばるでは館内の説明と星空環境の維持についての説明を受けました。体育センター・ピヤシリフオレストでは利用状況を伺い、トレーニング施設の状態を確認しました。名寄市北体育館では利用者からの説明と老朽化の状況、修繕の必要性を伺いました。スポーツセンターでは施設の状況、特に水回りやトイレの状況等を視察しました。

8月17日は所管各部より説明を受けました。

総務部企画課からは、こどもエコ隊では子どもたちに省



施設の老朽化が進み建て替え等の検討が必要な時期に来ている  
(児童センター体育室)

エネルギーについて興味関心を持つてもらうための体験事業等を行う予定について、宗谷本線活性化協議会ではアンケート調査を実施し、JＲとの協議を重ねるとの説明を受けました。防災担当からは大震災を想定したシェイクアウト訓練について説明を受けました。また参事監からは風連御料線のデマンド化、ヤマト運輸との協定、全国初となるQRコード付き段ボールの利

用等について伺いました。教育委員会からは道教委の公立高校等学校配置計画に基づく名寄市内高等学校在り方検討会議について、ウインタースポーツコンソーシアム協議会における市街地でのローラーズキー競技会実施について説明を受けました。市立大学からはオープンキャンパスの参加状況、大学図書館の利用状況、食堂の運営について、こども食堂がセンター事業となったなどの説明を受けました。



名寄自動車学校で行われたウインタースポーツコンソーシアム競技会  
(テクニカルレース)

## 議員研修会

(9月28日)

地方創生人材支援制度によつて財務省から派遣された松岡将参事監(企画担当)を講師に迎え、国の財政状況と地方財政の今後について」と題し講演をしていただきました。年金や医療関係の給付と財政の関係について、国の財政赤字が拡大することによる問題点などについて、わかりやすく説明していただきました。

今後の地方財政は、継続的な業務改善に取り組み、見える化の充実が重要であり、地方創生や総合戦略の今後に関わらず、検証可能な目標を掲げ、進捗管理を行うことが不可欠であるとの説明は、名寄市においても取り組んでいかなければならないものであると再認識することができました。



地方財政について知識を深める

## 市民福祉常任委員会活動報告

当委員会では6月26日、7月24日、8月10日、9月29日に委員会を開催しました。市民部からは「国保税算定システムに誤りがあり、追徴分6世帯、還元分で4世帯判明し、対象者に文書及び訪問でお詫びした事について」「平成28年度道内市税収入状況調査」結果の報告があり、市税総計は収納率98・7%で6年連続第1位、現年度課税では5年連続第1位となったと説明がありました。健康福祉部社会福祉課からは「現行の



共に働き共に生きるが広がる「陽だまり」で地域住民と連携した地域福祉を学ぶ

「第二次名寄市障がい者福祉計画」第四次障がい者福祉実施計画」の進捗状況及び次年度以降の両計画の基本的事項、障害者スポーツ活動の推進を図る「ポツチャ」用品を購入する他、社会福祉協議会に業務委託して平成30年1月開設を目指す成年後見センター委託料補正について。高齢者支援課からは「介護職員の不足により入所者を受け入れできずにいた特別養護老人ホーム清峰園が満床状態となり、しらかばハイツについても介護職員確保に努力中であること」「地域包括ケアシステム構築に向けたスケジュールと現状の取り組み」について。保健センターからは第3回定例会で付託された「名寄市開業医誘致条例の制定について」提案説明を受け、次回委員会で継続審査を前提に制度内容、他市との比較資料等を求め質疑を行いました。子ども未来課からは、市内の保育士・幼稚園教諭10名不足



地域の子育て支援を支える「どろんこはうす」

し、人材確保支援策を検討中であると説明を受けました。市立病院からは、新名寄市病院事業改革プランの点検・評価などについて報告を受けました。この中で平成28年度決算の状況は収入で診療報酬単価の伸長や救命救急センターの通年稼働などにより經常収益全体は計画見込みより1億2000万円上回る91億4100万円を計上。支出では職員数の増加、高額薬品の適用拡大などにより、見込みより1億1000万円上回る9億3000万円を計上、純損益全体で1億9000万円となった経過の説明がありました。

### 議会日誌 6~9月

6/26 市民福祉常任委員会  
6/27 総務文教常任委員会  
6/28 議会改革調査特別委員会  
7/19 議会報特別委員会  
7/24 市民福祉常任委員会  
各会派代表者会議  
7/31 経済建設常任委員会  
8/8 全国市議会議長会建設

8/10 運輸委員会（東京都）  
8/17 市民福祉常任委員会  
総務文教常任委員会  
議会改革調査特別委員会  
8/29 各会派代表者会議  
8/30 経済建設常任委員会  
9/1 議会運営委員会  
議会報特別委員会  
9/4 平成29年第3回定例会  
決算審査特別委員会  
議員協議会

9/13 委員長会議  
議会改革調査特別委員会  
9/25 平成28年度決算審査  
特別委員会（～28日）  
9/26 議会運営委員会  
9/28 定例会閉会  
公の施設の使用料及び  
利用料金等の見直しに  
伴う関係条例の整備に  
関わる審査特別委員会

## 経済建設常任委員会活動報告

7月31日に開催した委員会では所管の事業について建設水道部から市営住宅における不審火発生、旭ヶ丘17線踏切付近で目撃されたヒグマへの対応、市道路線風連22線の廃止及び認定、新たな雪堆積場確保に関する用地の取得、冬季の除排雪に向けて北海道所有の中古機材の購入の検討、経済部からは農作物の生育状況、ヒグマの出没状況、営業戦略室から平成26年策定の名寄市日進地区再整備基本構想の議論経過、第1回中小企業振興審議会の会議の概要について報告を受け質疑を行いました。

また、今年度の委員会の研究課題を「名寄市日進地区再整備基本構想の今後のあり方と市内経済の活性化」とすることを決定しました。

8月30日に開催した委員会では、建設水道部から各課の事業進捗状況、除排雪事業などに関する補正予算、「名寄市住宅マスタープラン（第2



高機能ハウス制御装置（スマートハウス）の機能について説明を受ける

次）策定委員会・作業部会第1回合同会議の概要報告、経済部からは第3次名寄市食育推進計画策定にかかわるアンケート調査結果と計画策定の流れ、名寄市立大学今野講師の協力で実施した農業労働力確保対策における調査結果、風連駅付近のヒグマの出没とアライグマ防除も含めた有害鳥獣の出没・捕獲状況と対策、

台湾交流推進、食肉センターの伝染病対策（消毒設備）などの補正予算について報告を受け質疑を行いました。

また、今年度の研究課題に関わる行政視察を11月13日、16日とすることとしました。

午後からサンルダム工事の進捗状況、名寄市農業振興センターで水稲などの試験栽培の状況とスマートハウスの試験状況、豊栄地区での水稲の生育状況について現地視察を行いました。



水稲の生育状況を確認

## 議会運営委員会活動報告

平成29年第3回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、9月1日と26日に委員会を開催しました。

9月1日の委員会では、会期を9月4日から28日までの25日間とすること、一般質問は9月19日に4名、20日に4名、21日に3名、合計11名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は23件、報告2件で、議案第15号平成28年度名寄市一般会計決算の認定についてその他、6特別会計決算と2企業会計決算を、全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。

9月26日の委員会では、定例会最終日の議事日程等について協議を行い、議案第24号名寄市開業医誘致条例の制定についてを市民福祉常任委員会に、議案第25号公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを特別委員会を設置しそれぞれ付託し審査を行うことを確認しました。

# ☆ き ぽ う ☆



北の天文字焼き  
 名寄市西2条南4丁目 横澤 博

平成元年から始まった『北の天文字焼き』。最近では「北海道火祭りベスト3」の一つに選ばれるなど北海道の冬を飾る一大イベントに成長してきました。2017年には、火文字の大きさをギネス世界記録に認定されました。23回で担い手の高齢化等から中止となりましたが、その経緯を知らなかった一部の市民から「復活を！」という運動が起き3年ぶりに復活し、来年で通算28回目になります。稚内市の犬ぞりレースが高齢化により中止を発表した際にアンケートを実施し「火を消してはならない」との声が多かったことから、市や商工会議所が加わり観光協会と民間の会の4者が構成団体となり、会長は観光協会長、市に事務局という形で継続しているそうです。名寄市でもそのような形になる日が来ることを夢見て、「雪質日本一フェスティバル」との連携を一層図り頑張っていきたいと思っています。



地域に愛されるチーム  
 名寄市大通北7丁目 岩間 悠介

私は名寄市立大学に通い、名寄市のYOSAKOIソーラントーム「北鼓童 & 名寄市立大学」に所属しています。7月のてっし祭りをはじめ、多くの名寄市の祭りで演舞させて頂いています。チームの大半を構成している僕ら大学生は、名寄市民の皆様の助けと支えがあり、日々成長できていることを感じています。そこで僕らができること、恩返しできることは何か考えたとき、名寄市のお祭りにご招待いただいたときに、皆様が見たいパワフルな演舞をすることだと思います。地域の名前を背負わせていただいていることや応援して頂いていることに感謝をし、名寄市を愛すること、それがチームとしても個人としてもできる恩返しだと思います。そうして、応援してくださる皆様に感謝の意を示し、名寄市の「きぼう」となるチームを目指していきたいと思います。

## 表紙の写真は「風連ウイング」です

なよる風連ウイングバレーボール少年団です。私たちは女子15名男子1名計16名で活動しています。

「心を一つに」を合言葉に監督、保護者と日々の練習に取り組み技術向上をめざしています。たくさんの方々を支えられていることに感謝し、練習の成果を発揮できるよう精一杯、挑んでいきたいと思っています。



雪や寒さからサクラを守る

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議員連盟（東川孝義会長）では、5月に植樹を行ったエゾヤマザクラの冬囲いをしました。元気に美しいサクラの花を咲かせてくれるようお願いを込めました。

## 林活議連で冬囲い

## 編集後記

落ち葉舞い散る深秋の折、雪虫が飛び始め一段と寒さが身に染みる季節となりました。さて、第3回定例会では決算審査特別委員会が開催されました。金銭で見積られた予算が、物品、財産、労務に形をかえて住民の福祉の向上にどれだけ成果を収めたのか、また、住民の税負担を財源にして住民の福祉向上にどれだけの行政効果や経済効果をもたらしたのか、その成果を生かして次年度予算にどのようかを反映させることができるのかを審査する重要な特別委員会でした。地方創生人材支援制度によって財務省から派遣された松岡将参事監の「国の財政状況と地方財政の今後について」と題した講演では、国及び地方の今後の財政面での大変厳しい状況を確認し、予算・決算審査特別委員会の重要性を再認識できました。議会報特別委員会では、市民の皆様に分かりやすい紙面づくりと親しみやすい紙面づくりを心掛けております。（伸）

